

「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」を策定しました
～2030年カーボンハーフとその先の未来に向けて～

東京都は、2050年ゼロエミッション東京の実現に向け、2030年までに温室効果ガス排出量を50%削減するカーボンハーフを掲げ、この4月から開始する太陽光パネルの設置義務化(*)を始めとした条例制度に加え、各種施策を拡充しています。

このたび、気候危機の深刻化や社会情勢等の大きな変化の中、取組を一層加速するため、2030年カーボンハーフとその先の未来を見据え、「ゼロエミッション東京戦略 Beyond カーボンハーフ」を策定しました。2035年までに温室効果ガス排出量を60%以上削減(2000年比)する新たな目標と、その達成に向けた31の個別目標を設定し、実効性ある施策を推進していきます。

再生可能エネルギーの基幹エネルギー化やエネルギー効率の最大化、水素エネルギーの社会実装、適応策の強化など、あらゆる取組を戦略的に展開し、世界のモデルとなる「脱炭素都市」を実現します。

*大手ハウスメーカー等を対象に、新築住宅等への太陽光発電設備の設置、断熱・省エネ性能水準の確保等を義務付ける全国初の制度(2025年4月1日施行)

本件は、「2050東京戦略」を推進する事業です。
戦略20 ゼロエミッション

【問合せ先】 東京都環境局総務部環境政策課 直通 03-5388-3429